



第2112回例会 9月第2週 9月12日(木)

通常例会 「米山月間」に因んで 神谷億文米山奨学委員長

司 会 親睦活動委員 森 克巳
点 鐘 会長 陣野壮太郎
ソ ン グ 「我らの生業」

会長の時間 会長 陣野壮太郎



皆さんこんにちは！今日は都合がつかない方も多いようですがご出席の皆さんご参加本当にありがとうございます。

8日9日の台風の影響で特に千葉県南房総の方面に大きな被害がありました皆さん問題なかったでしょうか？千葉の南部というと先日姉妹クラブ西那須野ロータリークラブの合同例会でいらした（西那須野ロータリークラブ姉妹クラブの）茂原ロータリークラブの皆さんを思い出します。被害が無いことを心より祈っております。私の千葉市の分譲マンションに住む後輩ですらマンション入口の天井が強風の影響で落ちて来た、屋上の頑丈な厚い鉄の配電盤倉庫の扉が強風で飛

ばされ、中も空洞になっているという悲惨な状況だった事を聞き、画像でも見せてもらいました。場合によっては義援金の要請もあるかもしれませんが、その際はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、本日の卓話は神谷億文担当委員長によります米山記念奨学金について話して頂きます。数字だけ見ると確かに米山奨学生数は中国韓国に多く私個人的にも反日教育をする国・経済的に発展した国からの留学生に私達が寄付をするのはどうかと考えております。しかし、地区大会で見かける奨学生や講演してくれる奨学生を見ると中国韓国というより東南アジア諸国の奨学生も多くいます。そういう奨学生を応援したいという思いで、本日、私も米山記念奨学会への寄付をさせて頂きました。また、米山梅吉大先輩ご自身の話しも大変興味深いもので卓話がその思いに触れる時間になればと祈念します。神谷億文米山委員長どうぞよろしくお願いします！！

幹事報告 幹事 石原 勇介



1、10月24日は「世界ポリオデー」！

ポリオ根絶特別プログラムのネット配信受信
世界ポリオデーは、世界中のロータリアンがポリオ根絶活動についての認識を高める為の活動を実施する絶好の機会です。地元でポリオ根絶に関連したイベントや活動を実施しましょう。

イベントの計画には、ポリオ根絶サイトのリソースセンターから各種リソースをダウンロードしてご利用ください。

1、新座市役所より2件受信

1) 暴力排除功労に対する感謝状の贈呈の件

日時：11月19日（火）12時30分

開演：13時30分

場所：ふるさと新座館ホール

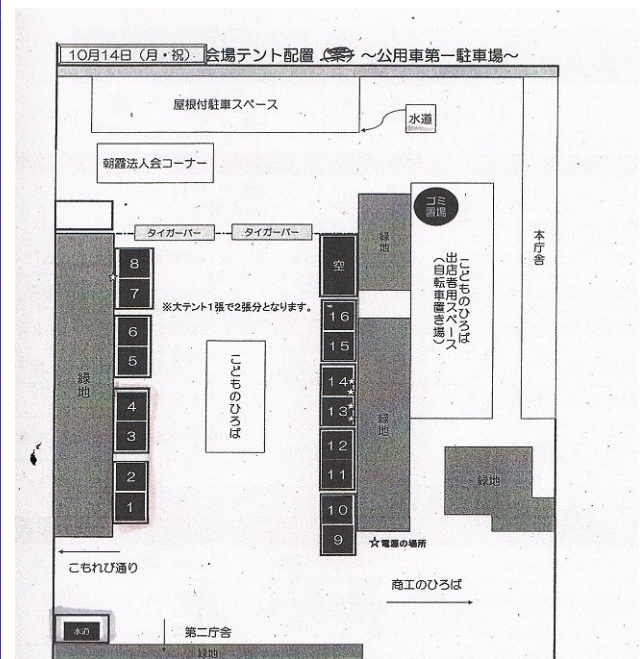
2) 令和元年秋の全国交通安全運動実施について並びに実施要項受信

期間：9月20日（金）～9月30日（月）

1、第5回 大江戸祭り開催に伴うお礼状拝受

1、和光ロータリークラブより会報拝受

1、朝霞ロータリークラブより例会変更拝受



「9月度会員親睦会」はベルセゾンに変更

日時：9月26日（木）19時～

場所：ベルセゾン 2F「Kashiwa」

委員会報告

社会奉仕委員会

委員長 森 克巳



新座快適みらい都市市民まつり第44回産業フェスティバル「こどもひろば」参加ご協力のお願い

日時：10月14日（月・祝）AM9:00～PM3:00

場所：新座市役所効用車駐車場1～4

催物：「スーパーボールすくい」

集合時間：8時30分

社会奉仕委員会・会長・幹事般入の為
その他の会員は交代で行いたいと思います。

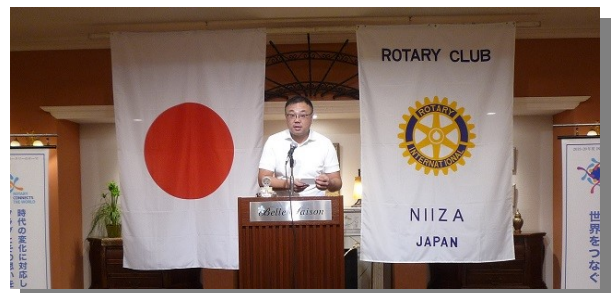
会場準備の為午前の部 9:00～12:00

会場の後片付け午後の部 12:00～16:00

スマイル報告

親睦活動委員会

委員 神谷 億文



陣野壮太郎会員 神谷億文米山奨学委員長、本日は卓話宜しくお祈いします。

金子 幸男会員 神谷億文会員の卓話楽しみにしております。

神谷 億文会員 本日卓話です。宜しくお祈い致します。

大塚 誠一会員・細沼 哲夫会員・岡野 元昭会員

宮川 勝平会員・増渕 和夫会員・龍山 利道会員

森 克巳会員・高橋 遼太会員・森 克巳会員

『神谷億文米山奨学委員長の卓話楽しみにしています。宜しくお祈い致します』

卓話「米山月間に因んで」

米山記念奨学委員会 委員長 神谷 億文



毎年10月を「米山月間」と定めている。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をする。そのために米山奨学生や地区役員・委員の卓話を聞き、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブ・フォーラムを開催したりすることが推奨されている。

ロータリー米山記念奨学会

1952年、東京RCは米山 梅吉（よねやま うめきち）（1868～1946）の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う「米山奨学制度」を構想しました。現在の「ロータリー米山記念奨学会」です。

米山 梅吉

1868年に江戸（東京）の和田家に生まれる。5歳の時に父親が他界したため、母親の郷里である静岡県駿東郡長泉町に移住する。14歳で旧制沼津中学に入学するも2年で退学し上京する。銀座の江南学校に入学するが、19歳で東京英和学校（青山学院の前身）に転入し、米人講師のもとで英語を学ぶ。翌年に米山家に養子となり、渡米。8年間の在米中、オハイオ州・ウェスレヤン大学やニューヨーク州・シラキユース大学などで法学を学ぶ。日本に帰国後に勝海舟に師事し、博文館より「提督彼理（ペルリ）」を出版する。

1897年、井上馨の紹介で三井銀行に入社し三井銀行深川・横浜・大阪各支店長等を経て、1909年、常務取締役就任。早川千吉郎などもいたが実質的に池田成彬と共に実権を掌握。終始一貫して池田の補佐的役割にあったが、池田に対抗して青学出身者を三井銀行・三井信託にスカウトし、その中に間島弟彦、万代順四郎らがいた。

1920年に日本初のロータリークラブである「東

京ロータリークラブ」を設立し初代会長に就任。内外編物（現・ナイガイ）設立に深く関わった。

1924年に三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任。1937年に財団法人緑岡小学校（現、青山学院初等部）を創立し校長に就任する。1935年多摩帝国美術学校（多摩美術大学）校賓。1938年には貴族院議員に勅選される。晩年も、財団法人三井報恩会理事長、三井信託株式会社代表取締役会長、第15回赤十字国際会議日本赤十字代表委員等を歴任、1928年に紺綬褒章受章、1942年に勲四等瑞宝章受章。最終学位は、マスターオブアーツ(MA) (オハイオ州・ウェスレアン大学) である。1946年4月28日死去。享年78歳。

東京ロータリークラブ設立にあたり日本ロータリーの祖 福島喜三次との出会いがありました。日本にロータリー運動をもたらすきっかけを作ったのは福島喜三次 FUKUSHIMA Kisoji です。福島は1881年佐賀県有田町に生まれ、一ツ橋大学を卒業後三井物産に入社して1905年に渡米し、ニューヨーク、オクラホマ、ヒューストンを経て、1912年頃、ダラスの三井物産の現地法人サザン・プロダクツ社の支配人に就任しました。既に同社の社長ウィリアムスがダラス・ロータリークラブの会員になっていたため、福島は1915年ころ、アディショナル正会員として、ダラス・クラブに入会します。その後、ウィリアムスが、第一次世界大戦の勃発によってドイツに引き上げたので、正会員として1920年まで、同クラブに在籍した最初の日本人ロータリアンです。

米山梅吉は 1868年東京に生まれ、少年時代を三島で過ごしました。沼津中学を卒業後、家出同然に上京し、苦学をしながら今の青山学院の前身である英語学校に通った後、1881年に渡米してアメリカの大学を卒業しました。アメリカ滞在中シカゴ万国博の日本館で説明係を務めたことから、この万国博を訪れたポール・ハリスと顔を合わせた偶然も想像できます。帰国後浪人生活を続けますが、30歳で井上馨の紹介で三井銀行に入ります。そこで先進国から新しい金融制度を導入するプロジェクトに携わったことから頭角を現し、神戸、大阪支店長を経て、常務取締役に、最終的には三井信託銀行の社長にまで出世します。

そして、1917年10月に目賀田種太郎男爵を団長とする政府派遣財政経済委員の一員として渡米した際、1918年の正月をダラスの福島宅で過ごすことになります。この訪米に際して、1918年正月に米山は、「はからずも、ご親切になり此地に新年を迎え候を永く記念すべく候」と前置きして「十三州は昔なりけり雪千里」「メキシコの境まで咲く 枯野哉」「テキサスの野の東や初日の出」の三句を詠んでいます。現地駐在員として案内役を務めた福島から、ロータリーに関する話を聞いて、関心を寄せると共に、アメリカのロータリークラブを訪れた可能性も考えられます。

1920年1月に帰国した福島は、アルバート・アダムス国際ロータリークラブ連合会会長から、年度内に日本にロータリークラブを設立してもらいたいという拡大特別代表の委任を受けて奔走しますが、年度末までに、創立に必要なチャーター・メンバーの数を集めることができず、期限切れとなってしまいました。エスタス・スネデコル連合会新会長は、福島に再度委任状を送ると共に、パシフィック郵船横浜支店長ジョンストンをクラブ拡大の世話役に任命して協力を命じました。福島から協力を依頼された米山梅吉は財界の面々に声をかけ、1920年9月1日に設立準備会が開かれ、同年10月20日、チャーターメンバー24名が集まって、銀行クラブで創立総会が開催され、東京クラブが誕生しました。なお、RIから正式に認証されたのは1921年4月1日で、登録番号852です。初代会長には米山梅吉、幹事には福島

喜三次、理事に伊東米次郎、樺山愛輔、小野英次郎が就任し、合計28名で、東京ロータリークラブが創立されました。

米山記念奨学会の誕生

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリー・クラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

世界の平和を願って ―なぜ留学生支援なのか
「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」――。

事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。

それから60年余の歳月が流れましたが、”民間外交として世界に平和の種子を蒔く”という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。

むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。

留学生への支援は、未来に向かって平和の懸け橋をかける尊い奉仕なのです。

9・10月のプログラム

委員長 岡野 元昭

26日(木) 夜間例会「会員親睦会」19時「柏の間」
10/3(木) 通常例会「松川ガバナー補佐訪問」
10日(木) 例会取消「市民まつり」に振替の為
14日(月) 移動例会「市民まつり」市役所駐車場

出席報告

委員長 高橋 遼太

R1.9.12 会員数29名 (免除者6名)	出席 15名 欠席 8名 出席率 65.22% 修正出席率 83.33%
------------------------------	--

★10月3日(木)ガバナー補佐訪問
★10月17日(木)ガバナー公式訪問

<http://www.niiza-rc.jp>

国際ロータリー第2570地区 新座ロータリークラブ

新座ロータリークラブ事務局

〒352-0001 新座市東北2-25-11-406

電話 048 (473)7041

FAX 048 (473)9221

Eメール niiza.rc@dance.ocn.ne.jp